

貧困家庭の子どもに対する”支援ネットワーク”のイメージ

- 【特徴】**
- ・病院に行けない
⇒健康格差
 - ・社会からの孤立
⇒SOS出来ない
 - ・不登校
 - ・子どもの発達障害
 - ・虐待の恐れ

貧困家庭の子ども

窓口負担の無料化

(受診の推進)

支援(アドバイス)

かかりつけ医・薬局

- 【制度の目的】**
- ・顔が見え気軽に相談、距離が近い
 - ・医薬品の安全対策(一元管理)
 - ・医療費の適正化(残薬の低減)
 - ・健康情報拠点
 - ・在宅医療の推進(地域包括ケアシステム)
 - ・幼少期における発達障害の早期発見

学校
(その他行政機関)

支援 情報共有

- 【期待できる効果】**
- ・かかりつけ医・薬局制度の普及
 - ・医療費の適正化、薬の適正な服用
 - ・子育て環境の充実・安心感の拡大
 - ・SOSの発信、孤立化の防止
 - ・発達障害や虐待の早期発見による健全な子育て環境の確保
 - ・地域の医療資源の活用・掘り起こし
⇒持続可能なネットワークの構築

(参考)子どもの発達支援体制

来年6月開院予定の三重県子ども心身発達医療センター新設に伴い、障がいも含めた複雑な問題を抱える子どもについて、心身のケアとともに、医療・福祉・教育が連携し、身近な地域で専門的な療育や支援が受けられる、地域の医療体制の充実が図られる。

子どもの貧困に対する包括的な対応へのアプローチ！